



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理・財務統括部長 (氏名) 矢部 利久 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	30,771	2.2	83	△65.5	243	△38.5	149	△39.9
29年3月期第2四半期	30,105	1.6	243	39.6	395	20.8	248	4.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 222百万円 (△38.2%) 29年3月期第2四半期 359百万円 (67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	14.95	—
29年3月期第2四半期	24.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	31,000	14,169	45.7	1,419.30
29年3月期	30,369	14,022	46.2	1,404.53

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,169百万円 29年3月期 14,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
30年3月期	—	7.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,300	1.9	475	△2.6	840	0.6	380	35.5	38.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	10,540,200株	29年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	556,722株	29年3月期	556,722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,983,478株	29年3月期2Q	9,983,478株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、引続き緩やかな景気回復基調で推移しております。海外においては、米国の景況感が改善しているもののトランプ政権の動向や、世界的な地政学的リスクが海外経済の下押し圧力となる可能性があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用者所得は穏やかな回復傾向にあり、実質雇用者所得は拡大しているものの、エネルギー価格の上昇等により消費者マインドに足踏みがみられるなど、依然として不透明な状況で推移しております。

当小売業界におきましても、消費者の将来不安に対する生活防衛志向、競合店出店に伴う「価格競争」の激化など、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、「品揃え」の充実と「価格」の安さの実現、「品質」の改善と「サービス」の充実強化を重点施策として取り組んでおります。特に「品揃え」の充実と「価格」の安さの実現においては、弊社が食品商品分野で加盟している「CGCグループ」と非食品商品分野で加盟している「NID(日本ドラッグチェーン会)」、並びに自社開発も含めた「PB(プライベートブランド)商品」の販売を強化し、これら「PB商品」の売上構成比を前連結会計年度末時点の6%から当連結会計年度中に20%まで引き上げることを計画し、当第2四半期連結会計期間末時点では、約10%まで引き上げております。

なお、当第2四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、店舗建替による新規開店と業態変更により、生鮮&業務スーパー店舗を2店舗出店いたしました。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
改 装	マミー中野店(富士市)	平成29年7月	ポテト中野店を業態変更
新規開店	マミー広見店(富士市)	平成29年9月	ポテト広見店を建替

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、307億71百万円(前年同期比2.2%増)となりました。『フード(食品)部門』につきましては、競合店の出店の影響等により下振れ要因はあったものの、引続き「エススポット(フード)」「業務スーパー」「マミー」を中心に順調に推移し、生鮮及び加工食品ともに前年同期を上回る結果となりました。『ノンフード(非食品)部門』につきましては、ヘルス&ビューティー商品や灯油等が前年同期を上回ったものの、天候不順の影響等により家電商品、住関連商品、レジャースポーツ用品等の販売が低調だったため、前年同期をやや下回る結果となりました。「ハードオフ」「エ・コモード」の専門店につきましては、引続き堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は83百万円(前年同期比65.5%減)、経常利益は、2億43百万円(前年同期比38.5%減)となりました。既存店は売上総利益率の改善や経費削減効果により経常利益は前年を上回ったものの、前連結会計年度に新規出店した店舗の人員費や固定費負担の増加と当連結会計年度に改装した店舗の改装一時経費の増加により、販売費及び一般管理費が3億2百万円増加したこと等によるものであります。

③親会社株主に帰属する四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億49百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資 産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は310億円となり、前連結会計年度末と比較して6億30百万円増加いたしました。

流動資産は79億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億70百万円増加いたしました。これは現金及び預金が2億99百万円、商品が1億44百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は230億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億59百万円増加いたしました。これは、店舗の建替え建設費等により有形固定資産が1億33百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は168億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億83百万円増加いたしました。

流動負債は101億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億23百万円増加いたしました。これは、買掛金が3億73百万円減少したものの、短期借入金が3億1百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が1億92百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は66億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億59百万円増加いたしました。これは長期借入金が3億52百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は141億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億47百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して2億99百万円増加し、16億22百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少額が3億73百万円、たな卸資産の増加額が1億42百万円あったものの、減価償却費5億41百万円、税金等調整前四半期純利益2億43百万円があったこと等により4億8百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が6億46百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が3億93百万円あったこと等により4億47百万円の支出となり、前年同期と比較して支出が5億99百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が8億45百万円あったものの、長期借入れによる収入が13億円あったこと等により3億37百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が5億6百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績を踏まえ、平成29年5月9日に公表いたしました平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年11月7日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,658	1,622,689
売掛金	476,442	516,233
商品	5,301,364	5,445,667
その他	393,970	381,646
貸倒引当金	△380	△442
流動資産合計	7,495,055	7,965,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,697,079	9,823,032
土地	7,470,102	7,470,102
その他(純額)	1,143,978	1,151,557
有形固定資産合計	18,311,161	18,444,691
無形固定資産	664,685	666,403
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,388,972	2,389,296
その他	1,509,784	1,533,901
投資その他の資産合計	3,898,756	3,923,198
固定資産合計	22,874,603	23,034,294
資産合計	30,369,658	31,000,089
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,856,500	4,482,595
短期借入金	2,867,555	3,169,510
未払法人税等	134,421	117,012
賞与引当金	99,224	113,058
役員賞与引当金	2,730	2,060
ポイント引当金	85,564	84,884
その他	1,928,269	2,228,620
流動負債合計	9,974,265	10,197,742
固定負債		
長期借入金	3,662,847	4,015,008
退職給付に係る負債	830,688	789,926
役員退職慰労引当金	105,739	76,500
資産除去債務	539,178	549,515
その他	1,234,754	1,201,835
固定負債合計	6,373,207	6,632,785
負債合計	16,347,472	16,830,528

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	11,784,673	11,859,134
自己株式	△446,185	△446,185
株主資本合計	13,620,435	13,694,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556,886	614,121
退職給付に係る調整累計額	△155,135	△139,456
その他の包括利益累計額合計	401,750	474,664
純資産合計	14,022,186	14,169,560
負債純資産合計	30,369,658	31,000,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	30,105,899	30,771,533
売上原価	23,622,838	24,144,707
売上総利益	6,483,061	6,626,826
販売費及び一般管理費	6,240,028	6,542,884
営業利益	243,032	83,942
営業外収益		
受取利息	111	33
受取配当金	8,273	8,803
受取家賃	223,549	219,967
その他	68,320	74,827
営業外収益合計	300,254	303,630
営業外費用		
支払利息	23,828	17,102
不動産賃貸費用	117,023	115,763
その他	6,819	11,352
営業外費用合計	147,671	144,217
経常利益	395,615	243,354
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,079	—
特別損失合計	6,079	—
税金等調整前四半期純利益	389,536	243,354
法人税、住民税及び事業税	125,662	72,096
法人税等調整額	15,334	21,921
法人税等合計	140,997	94,018
四半期純利益	248,539	149,336
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,539	149,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	248,539	149,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,619	57,235
退職給付に係る調整額	9,715	15,678
その他の包括利益合計	111,335	72,913
四半期包括利益	359,875	222,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,875	222,250
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	389,536	243,354
減価償却費	540,726	541,490
店舗閉鎖損失	6,079	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,234	13,834
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,547	△679
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,068	△18,367
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,280	△29,239
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,150	△670
受取利息及び受取配当金	△8,384	△8,836
支払利息	23,828	17,102
売上債権の増減額(△は増加)	8,479	△39,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	460,478	△142,426
仕入債務の増減額(△は減少)	△283,555	△373,904
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,037	60,068
その他	69,307	236,218
小計	1,202,950	498,216
利息及び配当金の受取額	8,384	8,836
利息の支払額	△23,919	△16,729
法人税等の支払額	△132,322	△81,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,055,093	408,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,100,911	△393,088
貸付金の回収による収入	3,864	3,942
敷金及び保証金の差入による支出	△12,055	△47,702
敷金及び保証金の回収による収入	70,820	365
その他	△9,040	△10,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047,321	△447,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	347,584	200,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△686,589	△845,882
社債の償還による支出	△31,500	△27,500
リース債務の返済による支出	△210,910	△214,389
配当金の支払額	△74,355	△74,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	844,228	337,813
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	851,999	299,031
現金及び現金同等物の期首残高	801,458	1,323,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,653,458	1,622,689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。